

山 焼きを知っていますか？
カノコユリの保全事業の一環として、地域の住民や市が協力して行うものです。22年1月28日鳥ノ巢山展望所、同2月7日に中甕島小池エリアで実施しました。山焼きの効用としては①草地への樹木の侵入防止、②草地環境の維持、③カノコユリの出芽の促進などが挙げられています。小池エリアでは環境の変化により、カノコユリが少なくなっています。鳥ノ巢山展望所では、夏を迎えるころには、美しく咲き乱れる様子がお目見えしてくれることでしょう。

甕島の山焼き



第16話
まくにしやん
ま：tomo.

「こしきん！感慨深く語る」

やあ！僕はこしきん。
甕大橋が完成して、もう1年半以上経つわ。

甕島では、島内間での新たな交流や一体となったスポーツ同好会なども誕生してきているみたい

観光のあり方も変わってきて、お店もたくさんできてきたし、みんなで新たな観光プランを考えたりと、活性化が始まっているよ。

島の良いところをお互いに認め合いながら、手を取り合ってこれからはますます活性化していくことを願っているよ...

ナレーション：オチはどうした!?!?

編集後記

私の島立ちは昭和40年代でした。当時のフェリーは、手打～青瀬～長浜～鹿島～平良～中甕～江石～里へと上っていきました。特に平良地区からの島立ちはフェリーの見える時間が非常に長かったです。切ない気持ちが長く続き、且つ家族を乗せた漁船もフェリーを追いかける時間が長かったことを記憶しています。当時のフェリーは野百合丸といい、約195t、定員124名と現在のフェリーニューこしき(940t、定員400)と比べても小さく、揺られてよく船酔いしたものでした。現在での寄港地は長浜～鹿島～里と少なくなりましたが、別れは当時も今も少しも変わらないことだと思います。島立ちする子供たちには違う環境において、優しく、たくましく育てて欲しいと願うばかりです。(山本)

●表紙は甕島に咲く桜



甕島ツーリズム推進協議会事務局

(薩摩川内市 商工観光部 観光・シティセールス課内)

TEL : 0996-23-5111 内線4386

FAX : 0996-23-5211

メール : omotenashi@city.satsumasendai.lg.jp